

3. 既存コンテンツ（VR、PV、イベント展示パネル等）を活用した情報発信ツールの作成

本節では、「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」の内容を分かりやすく示すコンテンツであるプロモーションビデオ（PV）、及び、より積極的な情報発信を可能にする情報プラットフォームとしてのバーチャル普天間未来シティの制作にあたっての検討を行った。

（1）プロモーションビデオ（PV）の制作

（1）- 1 PV制作の意義と目的

（1）- 1 - 1 意義と目的

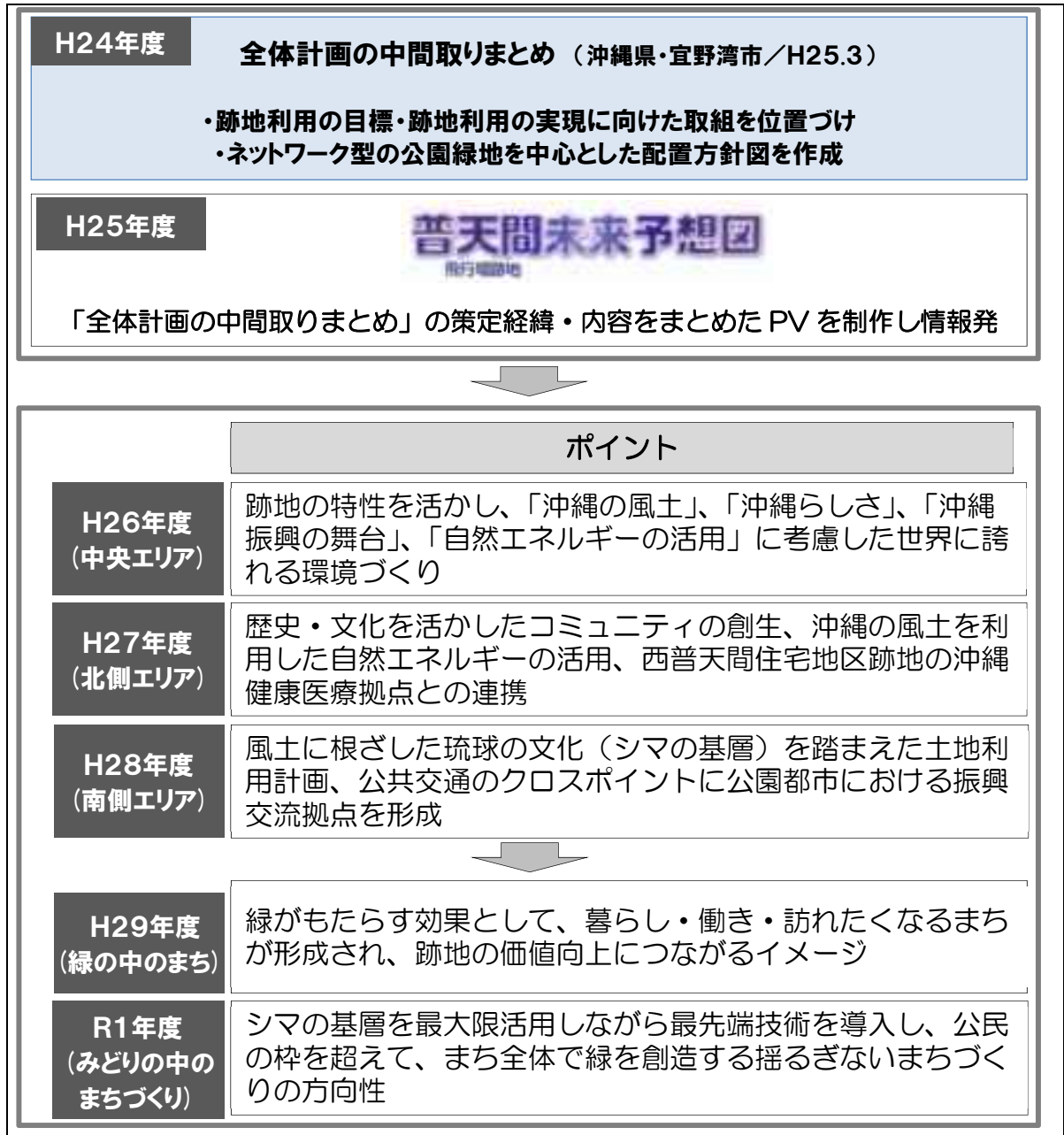
普天間飛行場跡地利用における将来イメージの検討内容をプロモーションビデオとして制作し、県民、市民、地権者等に向けて情報発信を行い、跡地利用の気運醸成ツールとして活用するとともに意見聴取ツールとしても活用することを目的とする。

（1）- 1 - 2 PVの活用方法

PVは多くの県民、市民、地権者等へ情報発信することが重要と考え、地元の字ごとの郷友会、地主会、普天間飛行場の跡地利用を考える若手の会、ねたてのまちベースミーティングなど積極的に活動されている団体の会合等で見ていただく機会を設けて、意見を聴取する。また、県のホームページ内の動画チャンネルやイベント等で公開することで、さらに広く県民、市民、地権者等のみなさんに見ていただくとともに、普天間飛行場跡地の計画づくりに関心を持ってもらう。

(1) - 1 - 3 今年度のPV制作の視点

来年度策定・公表予定の「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」の内容を伝えるPVは、過年度に制作したPVの内容を踏まえ、以下の視点で制作した。



- ・来年度策定・公表予定である「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」の内容を示し、かつ主要なポイントを強調し、県民、市民、地権者等の気運醸成を図る。

R4年度公表 全体計画の中間取りまとめ（第2回）（沖縄県・宜野湾市／R4）

- ・新たに跡地の将来像・揺るぎないまちづくりの方向性を位置づけ
世界に誇れる優れた環境の創造 ～みどりの中のまちづくり～
- ・新たな価値を生み出す公民一体となった大規模公園エリアを中核とした配置方針図に更新

○「全体計画の中間取りまとめ（第2回）PV制作の考え方

普天間未来予想図 2.0
普天間跡地

「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」の主要なポイントを強調したPVを制作し情報発信



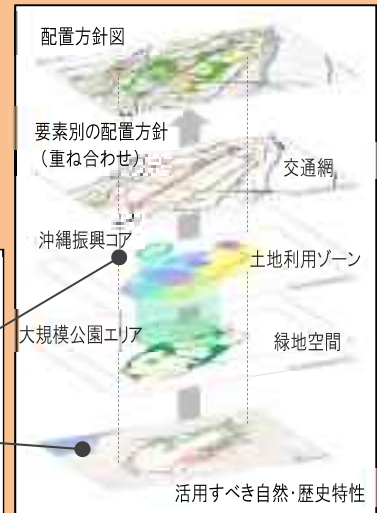
① 全体計画の中間取りまとめ（第2回）主要なポイント等

「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」

- 1 跡地の将来像～世界に誇れる優れた環境の創造～
- 2 揺るぎないまちづくりの方向性
- 3 計画づくりの4つの方針
- 4 緑地空間配置を重視した空間構成の方針

【主要なポイント】

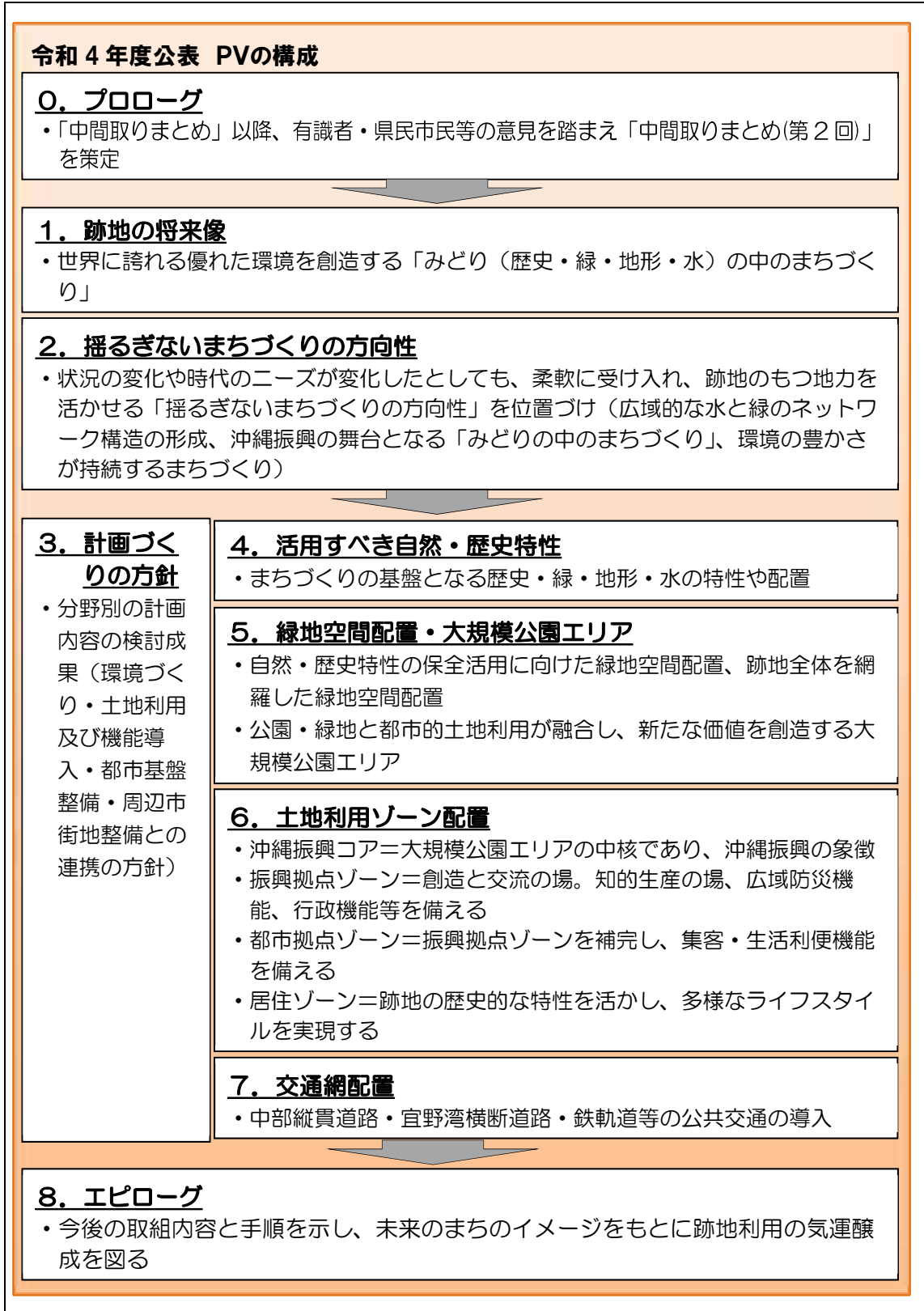
- ・沖縄振興に向けた環境づくり（SDGs、脱炭素）
- ・新たな価値を生み出す「みどり」の創造
- ・沖縄振興に向けた象徴となる空間の形成
- ・活用すべき自然・歴史特性の配置の確認
- ・今後の取組内容と手順









(1) - 2 PVの制作

(1) - 2 - 1 PVの構成

「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」の内容を伝えるPVを制作するため、その構成は、以下のように基本的に「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」の構成に沿うものとし、実際の映像では計画内容のポイントやキーワードの強調等の工夫を行った。



(1) - 2 - 2 PVシナリオ

No	time	コメント案	画像・文字情報メモ
I プロローグ			
01		1996年日本とアメリカの話し合いで、普天間飛行場を日本に戻すことが決まりました。	
02		2006年飛行場の跡地をどのように使うか、その基本的な方向性を公表しました。 この方向性を元に、跡地利用計画の検討を進め、	
03		2013年途中経過の「全体計画の中間取りまとめ」を公表しました。	
04		その後、県民市民・地権者のみなさんや有識者の意見を伺いながら、調査や、計画の検討を進め	
05		2022年「中間取りまとめ」の更新版を公表します。	
06	1' 05" /1' 05"	<タイトル>	



No	time	コメント案	画像・文字情報メモ
II 跡地の将来像			
07		<中見出し> (扉)	
08		(1. 旧集落図) 宜野湾市の4分の1を占める飛行場ですが、飛行場になる前は、多くの村や畑があり人々が暮らしていました。	
09		(2. シマの基層) 飛行場の地下には、サンゴ礁からできた琉球石灰岩層があり、雨水を濾過して、硬い島尻泥岩層の上を流れる 豊富な水脈や洞穴があると考えられます。	
10		琉球石灰岩層がつくる高低差は西海岸を展望できる高台の地形になっています。	
11		豊富な地下水脈に育まれ、生き生きと繁った木々は、季節風から生活を守り、暮らしを豊かにしていました。	
12		飛行場には、昔の人たちの 自然を活かす知恵や暮らしから生まれた文化が、まだ残っていると考えられます。	

No	time	コメント案	画像・文字情報メモ
13		(3. 飛行場の撤廃) 飛行場が返還され、新しいまちをつくる時に、この、水・地形・緑・歴史文化を地域の資源として活かし、	
14		(4. 土地利用計画) 多くの人々が、暮らし・働き・訪れる場をつくること。	
15		(5. 交通網) そして、分断されていた東西南北を道路や鉄軌道などの交通網でつなぎ、	
16	1' 51" /2' 56"	(6. 計画図) 都市の機能と自然や文化を合わせ持つ、世界に誇れる環境の新しいまちをつくること。 それが普天間飛行場跡地の目指す姿です。	
Ⅲ中間取りまとめ（第2回）のポイント1 「揺るぎないまちづくりの方向性」			
17		<中見出し>（扉）	
18		2013年に策定した中間取りまとめからおよそ10年。	
19		人々のライフスタイルや価値観、環境に対する意識も変わり、跡地利用の考え方も少しずつ変化してきました。	

No	time	コメント案	画像・文字情報メモ
20		しかし、どんなに時代が変わっても、揺らぐことなく、大切にしたい3つのことを、計画の考え方の中にはっきりと盛り込みました。	
21		飛行場に残る水と緑、新たに生み出す緑、周辺の水と緑を一体にした、水と緑のネットワークを創ります。	
22		この水と緑のネットワークを活かし、都市機能を融合させることで、この地の価値を高め、魅力的な環境のみどりの中のまちをつくれます。	
23		この水と緑の環境の豊かさを持続させるために、人材やその時点の最新技術を活かしていきます。	
24	1' 29" /4' 25"	時代や社会のニーズがどんなに変化しても、飛行場が持つ自然と歴史文化を活かすこと、それを揺るぎないまちづくりの考え方としました。	
Ⅳ中間取りまとめ（第2回）のポイント2 資源を活かす空間構成の方針			
25		<中見出し>（扉）	
26		公共と民間が協力しながら一緒に創り出す緑地空間と、都市空間を融合させた、	

No	time	コメント案	画像・文字情報メモ
27		大規模公園エリアが「みどりの中のまちづくり」の中心です。	
28		大規模公園エリアの中でも核となる「沖縄振興コア」平和を願う万国津梁の志をもって、沖縄に活力を与えるシンボルとなることをめざします。 ここを起点に、特色のあるまちが広がります。	
29		高台から海を望む眺望のよい振興拠点ゾーンは、研究開発などの創造性や発想力を引き出す企業には魅力的なロケーションです。	
30		先にまちづくりが進められている沖縄健康医療拠点ともつながり、沖縄に新しい産業を生み出すゾーンです。	
31		都市拠点ゾーンは、まちの中心軸に沿って、商業やサービスを配置。 ここに暮らす人、働く人、学ぶ人、そして周辺の皆さんの生活をサポートする、まちの原動力となるゾーンです。	
32		かつて、普天満宮への参道だった並松街道が通り、先人たちが自然を活かす知恵で暮らした旧集落があった東側一帯は、居住ゾーンです。飛行場の跡地周辺のまちともつながる住宅地を想定しています。	

No	time	コメント案	画像・文字情報メモ
33		大規模公園エリアと3つのゾーンの間を通るのが、いままで飛行場があるために分断されていた東西南北をつなげる交通網です。	
34		中南部都市圏を南北につなぐ「中部縦貫道路」	
35		東海岸と西海岸をつなぐ「宜野湾横断道路」	
36		そして、那覇から名護を1時間で結ぶ予定の「沖縄鉄軌道」が計画されています。	
37	2' 37" /7' 02"	これらの交通網により、新しいまちの外と中がつながり、広く自由に行動できるようになります。	
V エンディング			
38		この計画は、これからも県民市民のみなさん、地権者のみなさん、未来を担う若者たちからも多くの意見を伺い、	
39		検討を重ね、時代や社会の変化に柔軟に対応しながら更新していきます。	

No	time	コメント案	画像・文字情報メモ
40		跡地に引き継がれる自然や歴史文化などの資源や先人たちの思いの上に、まちが生まれかわり…	
41		人が集まり、産業を興し、創造性にあふれた多様な暮らしを実現する未来のまち。 新たなモデルとなる、 世界に誇れる環境のまちを、 共に創っていきましょう。	
42	1' 1" /8' 3		
	8分3秒		

(2) バーチャル普天間未来シティの制作

本章「1. (2) 今後の合意形成・情報発信のあり方検討」を踏まえ、いつでも・どこでも・誰にでも（時間・場所・人に限定されず）、より積極的な情報発信を可能にする情報プラットフォームとしてバーチャル普天間未来シティを制作し、今年度はパソコン用のウェブブラウザで閲覧・体験できるコンテンツを制作した。

尚、バーチャル普天間未来シティを制作にあたっては、VRをベースとした体験空間（跡地の特性を伝える空間）を制作し、原風景模型等これまでに制作したコンテンツを活用（再編集）した。

(2) - 1 バーチャル普天間未来シティの制作に向けての考え方

(2) - 1 - 1 基本的な考え方

- ・跡地の成り立ちや未来のまちのイメージを伝えるために、VRを活用しながら、跡地を知り、学び、体験できるシーンを展開
- ・過去・現在・未来、それぞれの跡地を体験できるシーンを展開
- ・跡地の土地利用の特徴を示すため、沖縄振興コア周辺（振興拠点ゾーン・都市拠点ゾーン）、並松街道（居住ゾーン）を体験できるシーンを展開

(2) - 1 - 2 コンテンツ制作に向けての考え方

- ①「中間取りまとめ（第2回）」の重要な要素であり、視覚的に表現することでイメージを伝えやすいコンテンツ（活用すべき自然・歴史特性、要素別の配置方針、配置方針図等）を活用
- ②過年度の制作物を活かし（原風景模型、パネル等）、跡地の歴史・自然特性等を知り、学ぶことができるコンテンツを制作
- ③バーチャル普天間未来シティ制作の初年度にあたる今年度は、表現方法の技術的検証・3Dならではの見せ方の検討を行い、コンテンツを制作
 - ・マウス操作で3D空間の移動を可能にし、また説明用ポップアップをつくる等、ブラウザ上での操作性（ユーザインターフェイス）やデータ容量の検証等の技術的検証を踏まえ、3Dならではの見せ方、楽しみ方ができるようなコンテンツ制作を行い、来年度以降へつなげる。






(2) - 2 VRを活用した体験空間の概略検討

これまでに制作したコンテンツを整理することで、活用可能なコンテンツを明らかにし、また体験空間との組み合わせを検討した。

(2) - 2 - 1 体験空間で展開する情報の整理

次頁の「これまでの取組・制作コンテンツ一覧」を以下の通りにカテゴライズし、体験空間と組み合わせる情報を整理した。

表Ⅲ-4 これまでの取組・制作コンテンツのカテゴリー

	カテゴリー	制作コンテンツ例
	普天間飛行場跡地の過去・現在 (普遍的な資源など)	・原風景模型 ・過去・現在の航空写真 ・普遍的資源・歴史に関するパネルなど
	普天間飛行場跡地の未来 (みどりの中のまちづくり)	・みどりのなかのまちづくりのPV、 ・みどりの効果に関するパネルなど
	普天間飛行場跡地の未来 (その他)	・中間とりまとめ紹介パネル ・「計画内容の具体化」に関する取組の概要」パンフレット ・新しい沖縄のライフスタイル紹介パネルなど
	普天間飛行場跡地の参考	・海外事例視察のレポート、動画など
	その他	・イベント実施レポートなど

表Ⅲ-5 これまでの取組・制作コンテンツ一覧（1）

年度	○取組・●コンテンツ	HP掲載		備考
		掲載有無	掲載箇所	
2013 (H25)	●PV「普天間未来予想図」	○	動画で見る普天間未来予想図	8分17秒の動画
	●県民向けPRパンフレット	○	計画のポイント	HPではパンフレットを4枚に分割し掲載（最新情報に更新）
	●地形模型	×		
	○大規模基地返還跡地利用計画提案コンペ	○	県民の声	上位5作品を掲載（計20枚） パネルからの検写データあり
	○県民フォーラム（第10回）	×		
	○PRキャラバン	×		
2014 (H26)	●PV「vol.1. 中央エリア」	○	未来のまちイメージPV	7分56秒の動画
2015 (H27)	●PV「vol.2. 北側エリア」	○	未来のまちイメージPV	10分18秒の動画
	●地層模型	×		
	●英語版パンフレット作成（中間取りまとめ・広域構想）	○	ENGLISH	両パンフレットを掲載（計8枚）
	○ワークショップ	×		実施レポート／記録
2016 (H28)	●PV「vol.3. 南側エリア」	○	未来のまちイメージPV	10分46秒の動画
	●原風景模型	○	模型で見るむかしの風景	集落の構成要素（計25か所）を紹介
	●原風景模型の説明パンフレット	×		
	○まちまーい	○	原風景を探しに行こう！	実施レポートを掲載
2017 (H29)	●PV「緑の中のまちづくり編」	○	緑の中のまちづくり	7分15秒の動画
	○海外視察「シンガポール」	○	緑の中のまちづくり	5分45秒の動画
2018 (H30)	●パンフレット「計画内容の具体化」に関する取組の概要	×		
	●イベント用PV「シマの基層編」（過年度PVの再編集）	×		3分13秒の動画
	●イベント用PV「緑の中のまちづくり」（過年度PVの再編集）	×		6分1秒の動画
	●イベント用PV「シアター映像」	×		7分48秒の動画
	●現在の航空写真マップ	×		
	●戦前の航空写真マップ	×		
	●VRによるまちまーい	×		ポップアップが出るVR
	●展示イベント①パネル（図書館イベント）	-	体験イベント	パネル（9枚）掲載（手ども用）
	01_みんなの家は？（基地周辺の学校等をマークした航空写真）	○		
	02_普天間飛行場のこと（普天間飛行場の歴史的経緯と宜野湾市に占める飛行場の割合）	○		
	03_比べてみよう今・昔（1945年と2009年の航空写真で比較）	○		
	04_普天間飛行場はどこなところ？（シマの基層説明）	○		中間取りまとめ報告よりリライト
	05_模型でわかるく地形と緑を活かした集落の様子（風から守る緑地・屋敷林）	○		原風景模型の説明パンフレットよりリライト
	06_模型でわかるく昔の集落の様子（旧宜野湾集落）	○		HP「模型で見る昔の風景」をパネル化
	07_模型でわかるく昔の集落の様子（旧神山集落）	○		HP「模型で見る昔の風景」をパネル化
	08_基地がまちになれば、こんなに変わる！（返還前と返還後の事例紹介）	○		県民向けPRパンフレットよりパネル化
	09_未来のまちのキーワード（緑の中のまち、緑の効果）	○		PV「緑の中のまちづくり」より抜粋パネル化
	●展示イベント②パネル	-		※パネル（11枚）の掲載なし
	01_普天間飛行場跡地利用計画の中間とりまとめ_1	×		
	02_普天間飛行場跡地利用計画の中間とりまとめ_2	×		
	03_普天間飛行場及び周辺における自然環境資源	×		

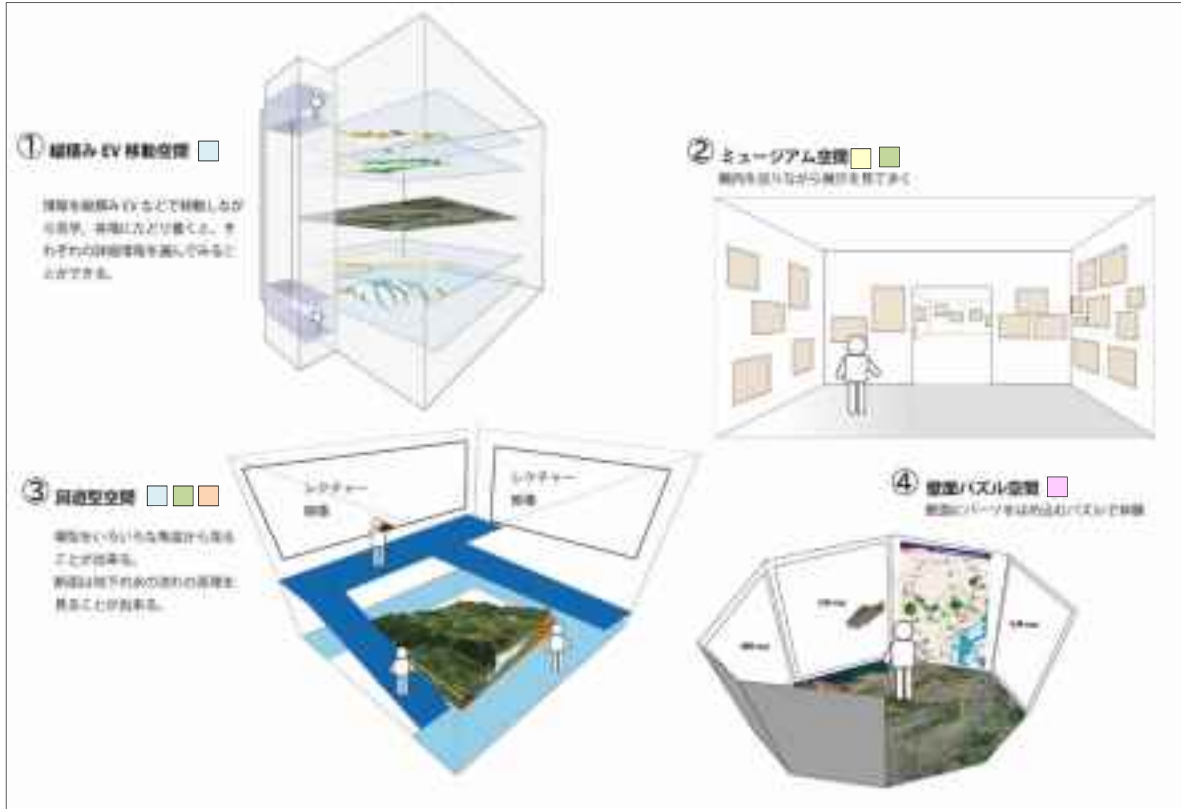
表Ⅲ-6 これまでの取組・制作コンテンツ一覧（2）

年度	○取組・●コンテンツ	HP掲載		備考
		掲載有無	掲載箇所	
	04 普天間飛行場及び周辺における歴史文化資源	×		
	05 模型でわかる地形と緑を活かした集落のようす	×		
	06 模型でわかる戦前の集落の様子	×		
	07 基地がまちになれば、こんなに変わる！	×		
	08 未来のまちのキーワード	×		
	09 新しい沖縄のライフスタイル_1	×		
	10 新しい沖縄のライフスタイル_2	×		
	11 新しい沖縄のライフスタイル_3	×		
	●イベント配布用オリジナルグラフィックファイル	×		(まんがキャラクター入り) (ノベルティ)
	○展示イベント①(宮野湾市民図書館)	○	体験イベント	実施レポート
	○展示イベント②(トータルリビングショウ)	○	体験イベント	実施レポート
○海外視察「オーストラリア」	○	線の中のまちづくり	実施レポート	
2019(R1)	●PV「vol14. みどりの中のまちづくりイメージ」	○	未来のまちイメージPV	8分26秒の動画
	●イベント用PV「過去・現在・未来」	×		7分2秒の動画
	●展示イベントパネル	○	体験イベント	パネル(5枚)掲載
	コーナー1 沖縄を感じる	-		
	01 東京と沖縄をくらべてみよう！(東京都と沖縄本島の比較)	○		
	02 山手線の中に普天間飛行場をはめてみよう(広さを感じる)	○		
	03 宮野湾市空港シート(飛行場と周辺公共施設)	○		
	コーナー2 普天間未来予想図の意見聴取	-		
	04-05 沖縄の未来で行ってみたいところは？(未来予想図から人気投票)	○		
	○展示イベント「子ども童が関見学デー」	○	体験イベント	実施レポート
	○海外視察「ドイツ」	○	線の中のまちづくり	実施レポート
2020(R2)	-	-		

(2) - 2 - 2 体験空間の概略検討案の作成

バーチャル普天間未来シティの体験空間を4案検討し、各空間の特性を活かしながら発信可能な情報カテゴリーを整理した。

バーチャル普天間未来シティでは、以下の①③空間をベースとした空間を2つ制作し、発信する情報の再整理を行った。また、跡地の特性を示す空間の提供を行うために、沖縄振興コア周辺・並松街道周辺の空間もあわせて、体験可能なものとした。



図Ⅲ-14 体験空間の概略検討案

(2) - 3 シーン構成・システムフロー等の検討

体験空間の概略検討案を踏まえ、バーチャル普天間未来シティの全体のシーン構成、システムフロー、コンテンツの相関関係等を整理した。

(2) - 3 - 1 バーチャル普天間未来シティのシーン構成概略

パソコン用のウェブブラウザで、ユーザーが体験するシーンの概略を示す。ブラウザ上のホーム画面からはじまり、バーチャル普天間未来シティを体験する4つの体験空間からなる（①エントランス空間、②跡地探検（EV空間）、③タイムスリップ（模型空間）、④まちまーい（散策空間））。




図Ⅲ-15 シーン構成概略

(2) - 3 - 2 バーチャル普天間未来シティのシーンイメージ

ユーザーが体験する各シーンのイメージや各空間で体験する内容を示す。

1. シーンイメージ

1. ホーム画面 (インフォメーション)



ブラウザ画面

バーチャル普天間未来シティとは (バーチャル普天間未来シティの概要)

例)

- ・ 普天間飛行場跡地で検討されている未来のまち (世界に誇れる価値を創出したまちのまち) を、歩いてのように体験できます。VRヘッドセットを装着して歩いてみましょう。
- ・ 未来のまちの中の特定の建物や公園などを選択し、歴史・緑・地形・水といった普天間飛行場跡地にあった重要な資源、過去のまちの暮らしなど、普天間飛行場跡地について、視覚・聴覚などができます。

操作方法

例)

- ・ 左クリックを押しながらマウスを動かすと、前後左右に移動します。
- ・ ホイールを押しながらマウスを動かすと、上下左右の辺りを回転することができます。
- ・ まちの中のリソース (看板) をクリックして、普天間飛行場跡地を視覚・聴覚・触覚で体験空間に移動 (ワープ) してみましょう。サイン (看板) が設置されている場所の上には、VRヘッドセットが映り込んでいます。

2. エントランスに移動



各建物の説明+空間の移動 (ワープ)

- ・ エントランスの説明+体験空間全体の概要説明+各空間にワープ

① エントランス


① 建物情報 (VR空間)

- ・ ショップの機能、配膳方針の紹介とエレベーターで移動することによって閲覧できる




② タイムスリップ (歴史空間)

- ・ 鳥居型模型の複製ができる
- ・ 複製上のクリックをすると、建物の複製の複製の複製が何層もアップで出てくる



③ まち暮らし (数百年前)

- ・ 数百年前のエピソードを再現し、当時のサインをクリックすると、数百年前の様子や、居住空間のイメージと当時の暮らしのイメージが出てくる




1. シーンイメージ

3. 体験空間 1

資源の豊かなからなる未来のまちを体験

- ・ ここは建物前から始まる。入口の前には、この空間の役割をするサインと他の体験空間 (②③④) にワープするためのサインを設置。入口の中に入ると、配膳方針 (7F) から始まり、建物の歴史 (歴史空間) に移動し、利用者は1Fで操作を開始
- ・ 配膳方針 (未来のまち) から活用する自然・歴史・緑・地形・水といった普天間飛行場跡地にあった重要な資源、過去のまちの暮らしなど、普天間飛行場跡地について、視覚・聴覚などができます。
- ・ 各層にEVが繋がっており、EVから未来のまちのバーチャル空間へ戻る



建物の中に入ってみよう! (クリック!)

ホームへ戻る

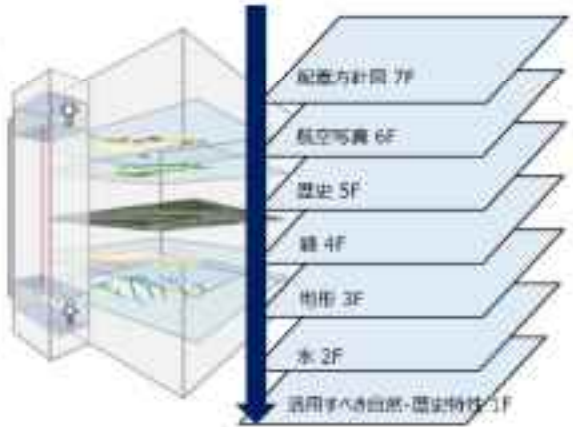


図 III-16 シーンイメージ (1 / 2)

III-45



1. シーンイメージ

3. 体験空間③

晴天遊覧船場跡地で検討されている未来のまち（船松街道）を体験

- ・ 船松の地区及び船松街道には、この空間を説明するサインと他の体験空間（①②③）へワープするためのサインを設置
- ・ 船松街道沿いのサインをクリックすると、3つのゾーンの図解がポップアップで出てくる

未来のまちを散策してみよう！

ホームへ戻る

ポップアップの図解 (例)

集客誘致ゾーン

見晴らしの良い屋上テラス

集客誘致ゾーンと集客施設の説明コメント

見晴らしの良い屋上テラスの説明コメント

船松沿いのサイン

- 他の体験空間へワープ
- 体験空間③の図解
- 集客誘致ゾーン
- 都市拠点ゾーン
- 居住ゾーン

船松沿いのサインをクリック

サインの設置箇所 (例)

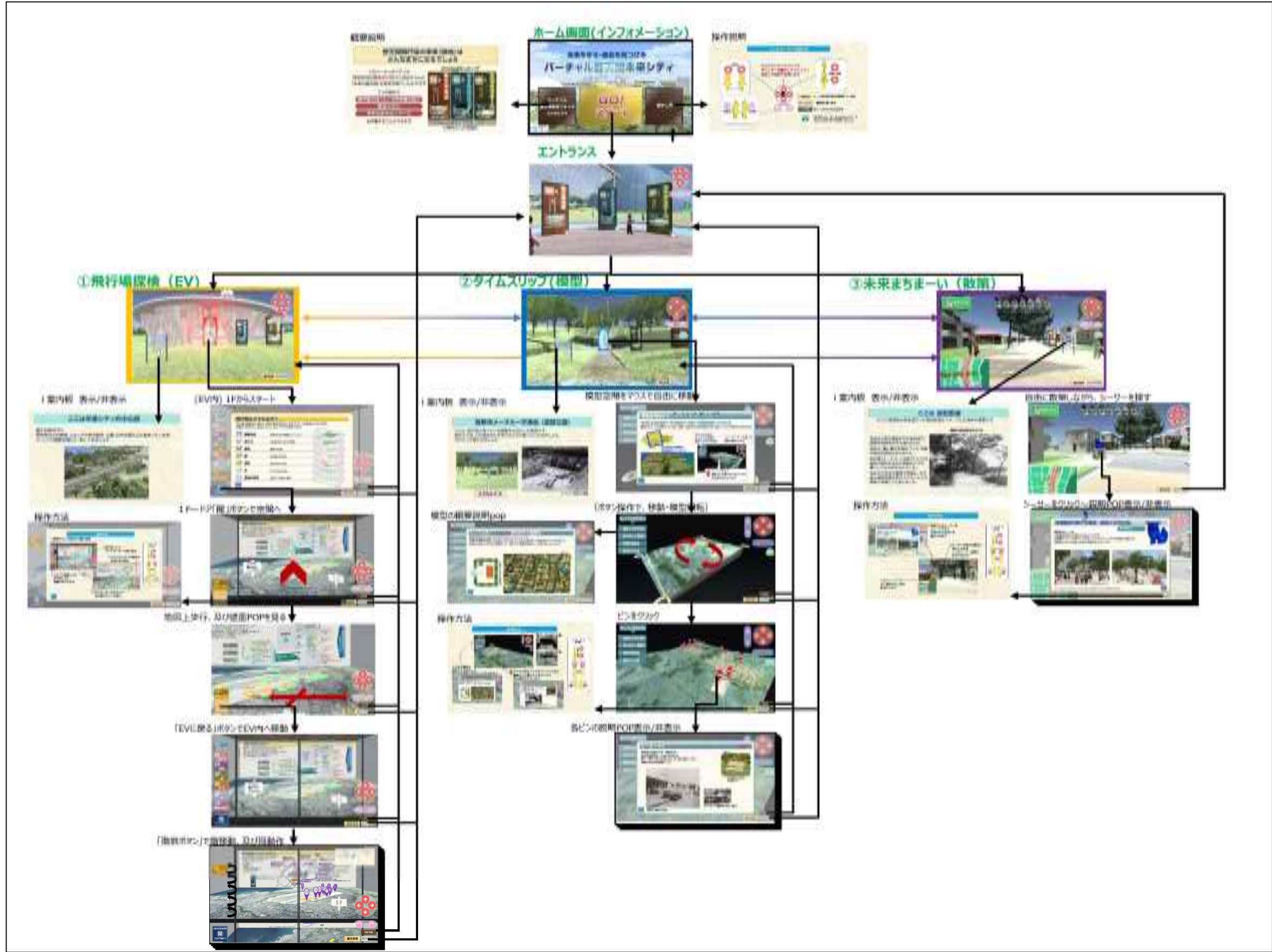
図Ⅲ-17 シーンイメージ (2/2)

(2) - 3 - 3 システムフロー・コンテンツの相関関係

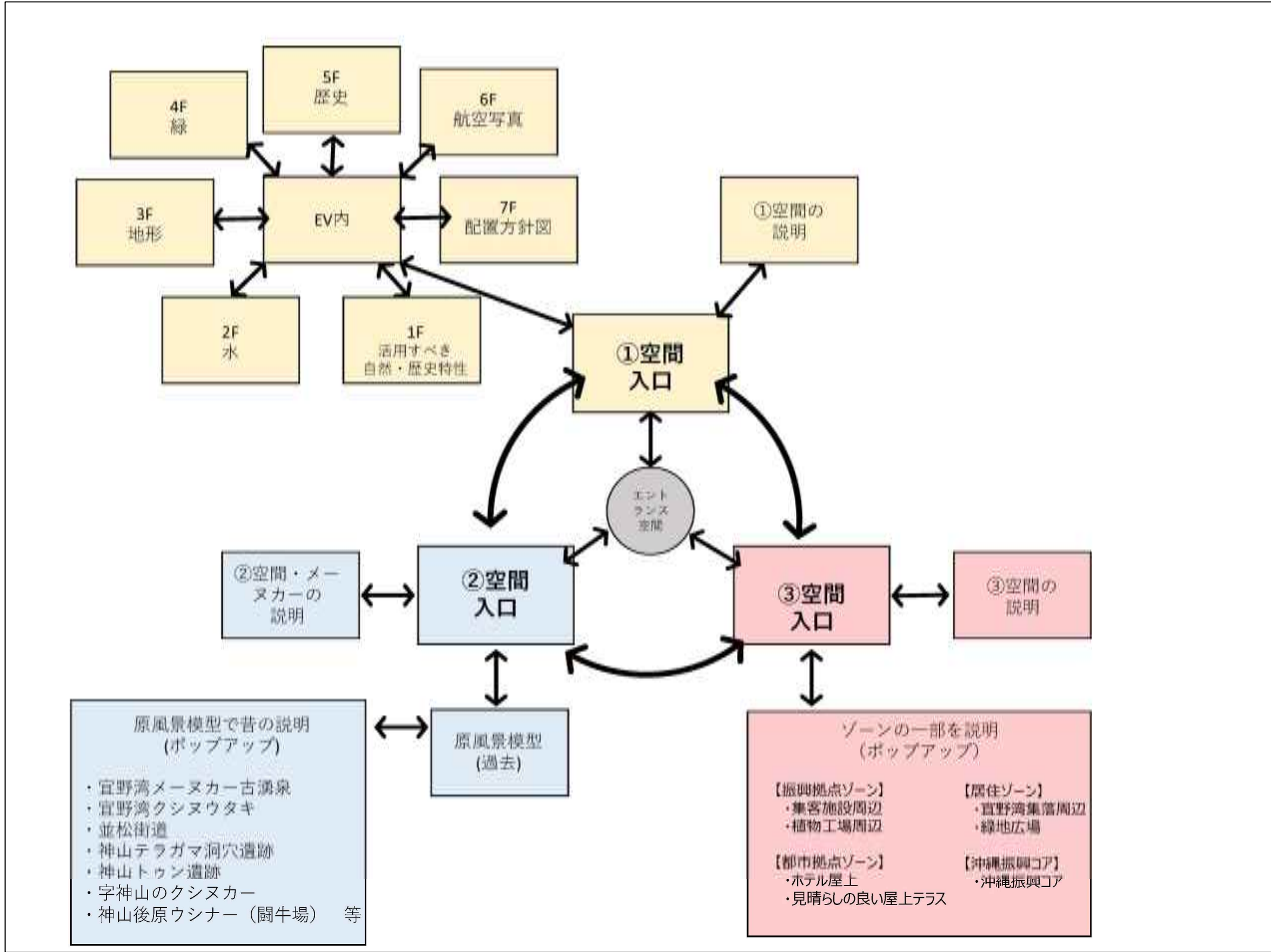
各空間等での操作イメージ等を示したシステムフロー図と、各空間やコンテンツのつながりを示すコンテンツ相関図を次頁以降に整理した。なお、各図の概略は以下に示す。

表Ⅲ-7 システムフロー図・コンテンツ相関図概略

図	画面・空間	概略
システムフロー図	ホーム画面	以下のコンテンツの画面イメージ（ボタン配置等）を示す ・バーチャル普天間未来シティとは ・操作説明 ・バーチャル普天間未来シティのエントランスへのリンク
	エントランス	・エントランス空間の画面イメージ
	飛行場探検 （①空間）	・①空間として制作したエレベーター（E V）空間内での画面イメージ（ボタン配置等）、ユーザーの動き・操作等を示す
	タイムスリップ （②空間）	・②空間内での画面イメージ（ボタン配置等）、ユーザーの動き・操作等を示す
	未来まちまーい （③空間）	・③空間内での画面イメージ（ボタン配置等）、ユーザーの動き・操作等を示す
コンテンツ相関図	エントランス	・エントランスからつながる空間・コンテンツを示す（①～③空間へ移動可能）
	飛行場探検 （①空間）	・①空間入り口では、エントランス・②空間・③空間につながる ・①空間内でつながる空間・コンテンツを示す（E V・各フロア・①空間の説明へ移動可能）
	タイムスリップ （②空間）	・②空間入り口では、エントランス・①空間・③空間につながる ・②空間内でつながる空間・コンテンツを示す（原風景模型のある部屋・原風景模型の説明・②空間の説明へ移動可能）
	未来まちまーい （③空間）	・③空間入り口では、エントランス・①空間・②空間につながる ・③空間内でつながる空間・コンテンツを示す（跡地の3つのゾーンの説明・③空間の説明へ移動可能）



図Ⅲ-18 システムフロー図

















図Ⅲ-19 コンテンツ相関図

(2) - 4 ポップアップ・サイン等のイメージ


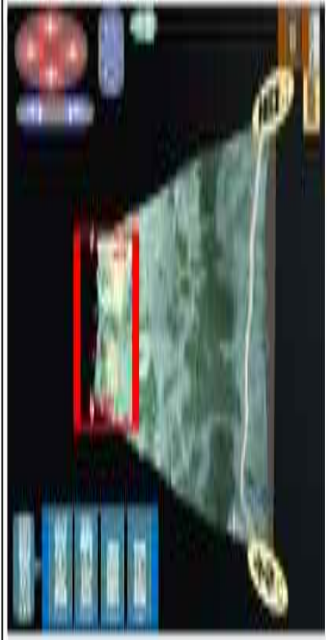
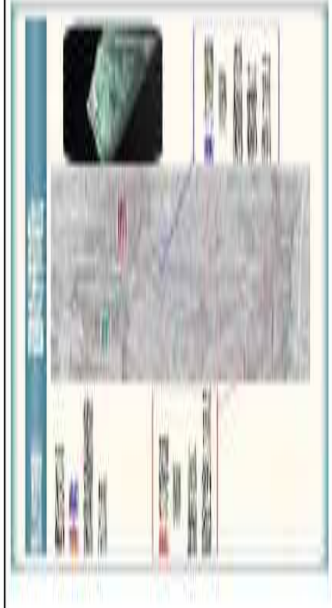



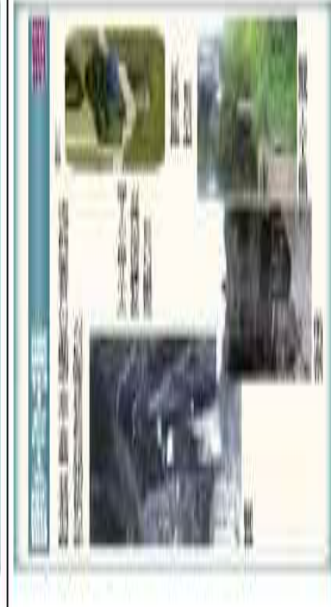
ウェブブラウザのホーム画面、体験空間内に設置されるサイン（看板）・説明用のポップアップ等の各コンテンツのイメージ画像とその設置位置を次頁以降に示す。

① コンテンツ一覧


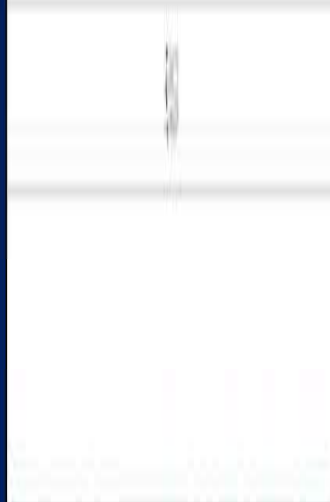

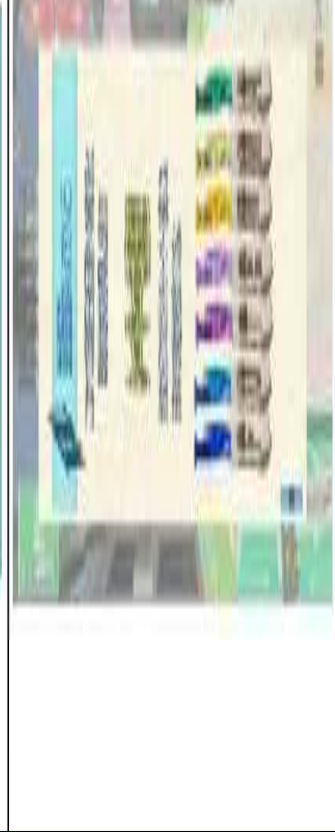
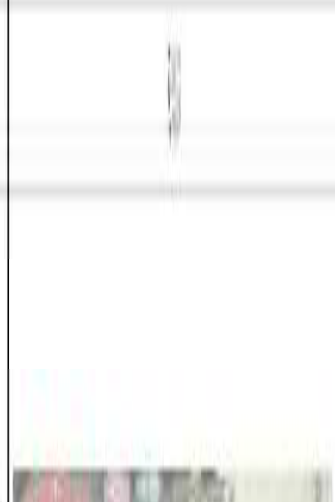



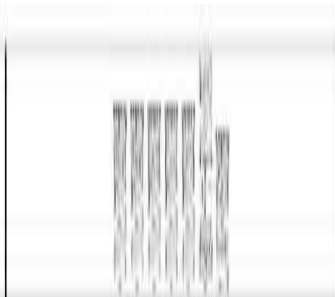
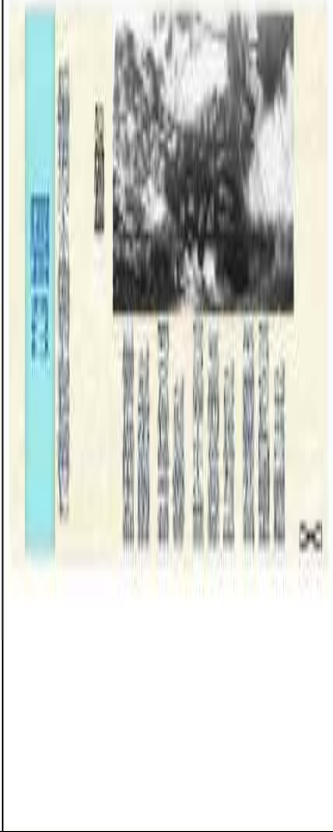



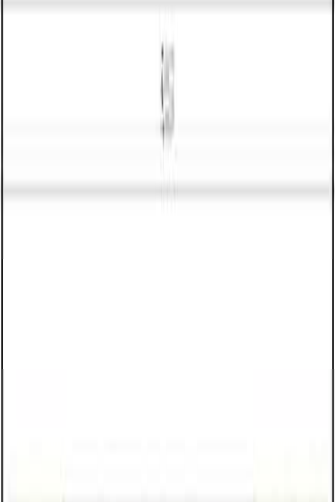





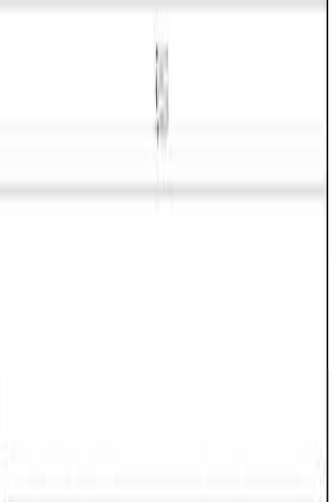

番号	001	002	003	004	005	006
						

番号	実施内容	イメージ	実施主体	備考
007	普及啓発活動			<ul style="list-style-type: none"> ● 2019年10月28日開催 ● 2019年10月29日開催 ● 2019年11月10日開催 ● 2019年11月24日開催 ● 2019年12月14日開催
008	普及啓発活動		高松市	
009	普及啓発活動		高松市	
010	普及啓発活動 (E-PR)		高松市	<ul style="list-style-type: none"> ● 高松市アプリ開発、高松市のPRを目的として、高松市アプリを開発
011	普及啓発活動 (E-PR・PR)		高松市	
012	普及啓発活動 (E-PR・PR)		高松市	
013	普及啓発活動 (E-PR・PR)		高松市	

番号	施設名	写真	内容	写真	備考
021	皇野池水鏡 (CA1・6F)				
022	皇野池水鏡 (CA1・6F)				
023	皇野池水鏡 (CA1・7F)				
024	皇野池水鏡 (CA1・7F)				
025	タイムスリップ				<p>1. 皇野池水鏡 2. 皇野池水鏡 3. 皇野池水鏡 4. 皇野池水鏡 5. 皇野池水鏡 6. 皇野池水鏡 7. 皇野池水鏡</p>
026	タイムスリップ				
027	タイムスリップ				

番号	設置位置				
028	タイムスリップ				
029	タイムスリップ				
030	タイムスリップ				
031	タイムスリップ				
032	タイムスリップ				
033	タイムスリップ				
034	タイムスリップ				

番号	設置位置
035	タイ△スリップ
036	タイ△スリップ
037	タイ△スリップ
038	タイ△スリップ
039	タイ△スリップ
040	タイ△スリップ
041	タイ△スリップ

番号	設置位置	写真	写真	写真
042	タイムスリップ			
043	未来まちまーい			
044	未来まちまーい			
045	未来まちまーい			
046	未来まちまーい			
047	未来まちまーい			
048	未来まちまーい			

番号	設置位置
049	未来まちまーい
050	未来まちまーい
051	未来まちまーい
052	未来まちまーい
053	未来まちまーい

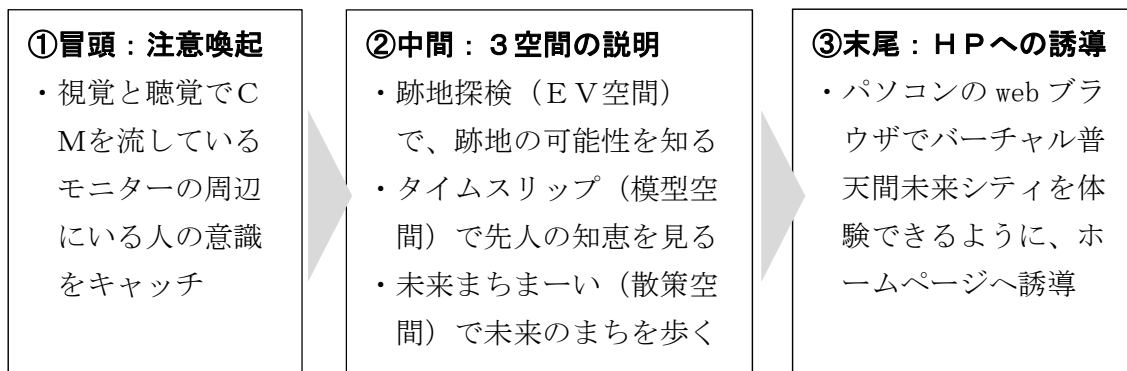
(2) - 5 バーチャル普天間未来シティの宣伝用PV (CM) の制作

情報プラットフォームとしてのバーチャル普天間未来シティを広く国内に広めるため、より積極的な情報発信を行うために、CMを制作した。以下にその考え方等を示す。

(2) - 5 - 1 基本的な考え方

- ・いつでも・どこでも・誰にでも（時間・場所・人に限定されず）、より積極的な情報発信を可能にする情報プラットフォームであるバーチャル普天間未来シティをより多くの人に周知するためのツールとする。
- ・多くの人に周知するために、商業施設等において目に留まりやすく、簡単にバーチャル普天間未来シティの内容を理解できるCM（30秒程度）とする。

(2) - 5 - 2 CM構成・内容の考え方



(2) - 5 - 3 CMによる情報発信方法

CMの放映場所としては、縣市庁舎1Fエントランス、縣市主催のイベント、県内外の集客施設等を想定する。尚、県内における集客施設候補地を以下に整理する。

■ 放映が可能な集客施設

	上映場所	費用	備考
①	サンエー浦添西海岸 パルコシティ	無料	放映回数の指定不可
②	イーアス沖縄豊崎	—	実績・依頼がない為、企画書を提出後、 金額も含めて精査する
③	那覇バスターミナル	1カ月：15万円 キャンペーン価格：2万円 (2021年1月時点)	2回/時(30秒) ※放映回数・日数の調整可
④	あしびビジョン	1カ月：49万9200円	2回/時(30秒) 放映時間：7時～23時 ※放映回数・日数の調整可
⑤	那覇てんぶすビジョ ン	1カ月：12万3200円	2回/時(30秒) 放映時間：9時～20時 ※放映回数の調整可



①



②



③



④



⑤

(2) - 5 - 4 CMの映像

No	映像
① 冒頭：注意喚起	
01	
② 中間：3空間の説明	
02	

03	
04	
<p>③ 末尾：HPへの誘導</p>	
05	

4. パンフレットの制作

本節では、今年度制作したパンフレットの目的及び構成等について整理した。

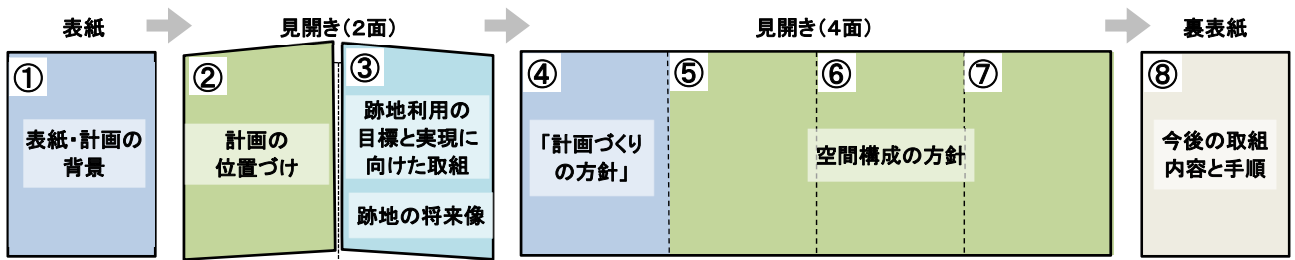
(1) パンフレット制作の目的

「全体計画の中間取りまとめ（第2回）（委員会案）」を県市庁内及び関係者への説明するための資料としてパンフレットを制作した。

なお、来年度に策定する「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」の内容を県民市民及び地権者に周知させるパンフレットの素案としての役割も担うものである。

(2) パンフレットの構成

パンフレットの構成は、表面、中面を併せて8面構成、観音開きでA4仕上がりとした。

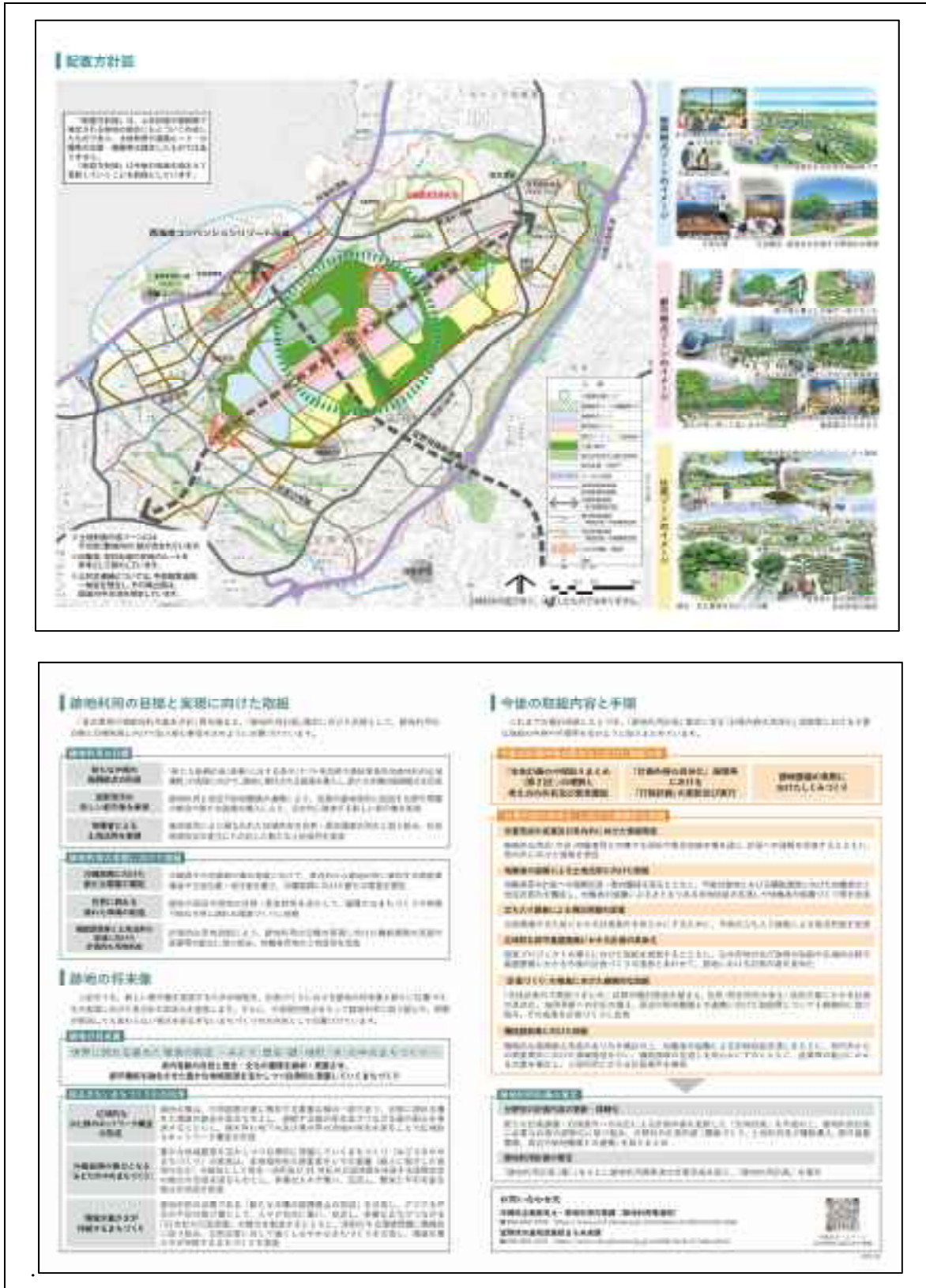


図Ⅲ-26 パンフレットの構成

(3) 「全体計画の中間取りまとめ(第2回) (委員会案)」パンフレット



図Ⅲ-27 パンフレット(1/2)



図Ⅲ-28 パンフレット（2 / 2）

5. ホームページの更新

本節では、今年度実施したホームページの更新内容について整理し、今後の展開について述べる。

(1) コンテンツの更新

PV、イベントの報告など新たなコンテンツを順次格納し、サイトのアップデートを行い、地権者、県民・市民に情報発信の充実を図った。

更新項目は、以下のとおりである。

【更新項目】

- ・イベントの開催告知
- ・イベント開催報告（普天間未来予想図パネル展）
- ・「バーチャル普天間未来シティ」を追加

(1) - 1 イベントの開催告知

沖縄県及び宜野湾市のホームページにおいて、イベントの開催告知を行った。

普天間未来予想図
飛行場跡地 **パネル展**

沖縄県と宜野湾市は、協議が予定されている普天間飛行場の跡地利利用計画策定に向けた取り組みを共同で行っています。様々な人が集い、暮らし、働き、遊ぶ。そんな未来のまちのイメージを紹介し、広く市民のみなさまが跡地におけるまちづくりについて考えていただくきっかけにできればと思います。

展示内容として、跡地に於けるまちづくりを「普天間未来予想図」と題して、「跡地の中のまちづくり」、「新しい地域のライフスタイル」をテーマに3Dイメージや現地利用に向けた検討内容について紹介しております。

おんなで未来のまちをイメージしてみませんか。

「跡地の中のまちづくり」
跡地の魅力を最大限に引き出し、暮らしやすいまちづくりを実現しよう！

「新しい地域のライフスタイル」
普天間飛行場跡地の未来のまちを実現したいライフスタイルは？

開催日時・場所 各回とも 10:00～20:00

第1回	令和3年 12月4日(土)・5日(日)	サンエー那覇メインプレイス [3階エントランス]
第2回	令和3年 12月11日(土)・12日(日)	イオンモール沖縄ライカム [2階サロンドヌクエア展示場]
第3回	令和3年 12月18日(土)・19日(日)	サンエー宜野湾コンベンションシティ [3階エントランス]

【お問い合わせ先】
沖縄県 県土・地域利用対策部 連絡先：〒電話：098-829-2266 会場：宜野、津堅 宜野湾市 まちある部 連絡先：〒電話：098-829-4422 会場：高良、東二

図Ⅲ-29 告知チラシ（再掲）

(1) - 2 イベントの開催報告

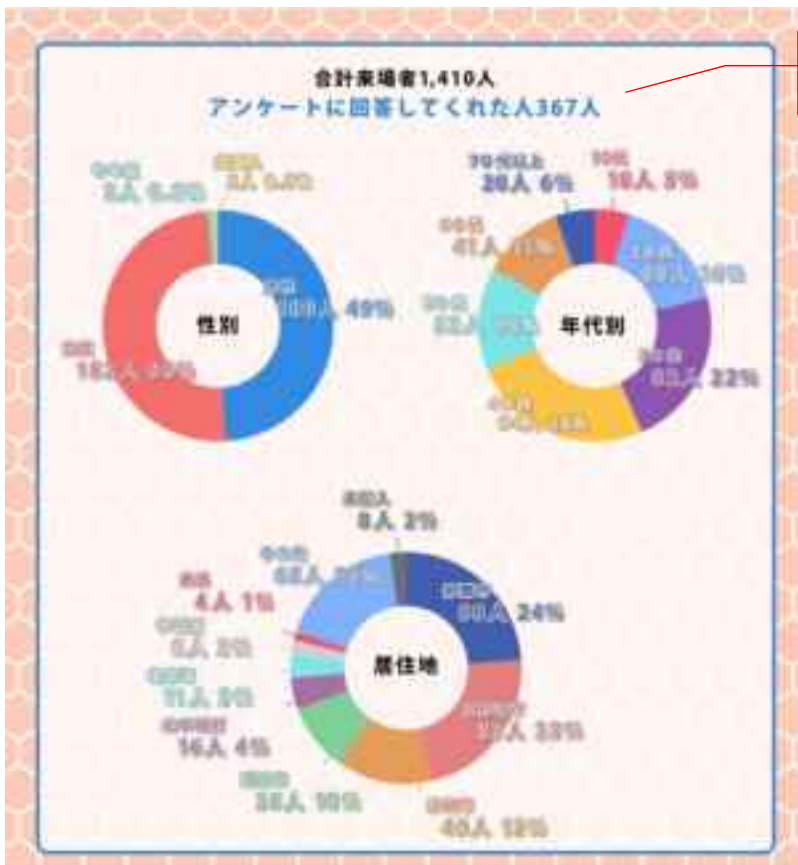
12月に開催した「普天間未来予想図パネル展」の開催結果を会場風景、展示内容、来場者属性、アンケート集計結果を抜粋して、来場された方や初めて見る方にも概略がつかめるようにまとめた。

①トピック画像等の修正



②イベント開催報告ページ

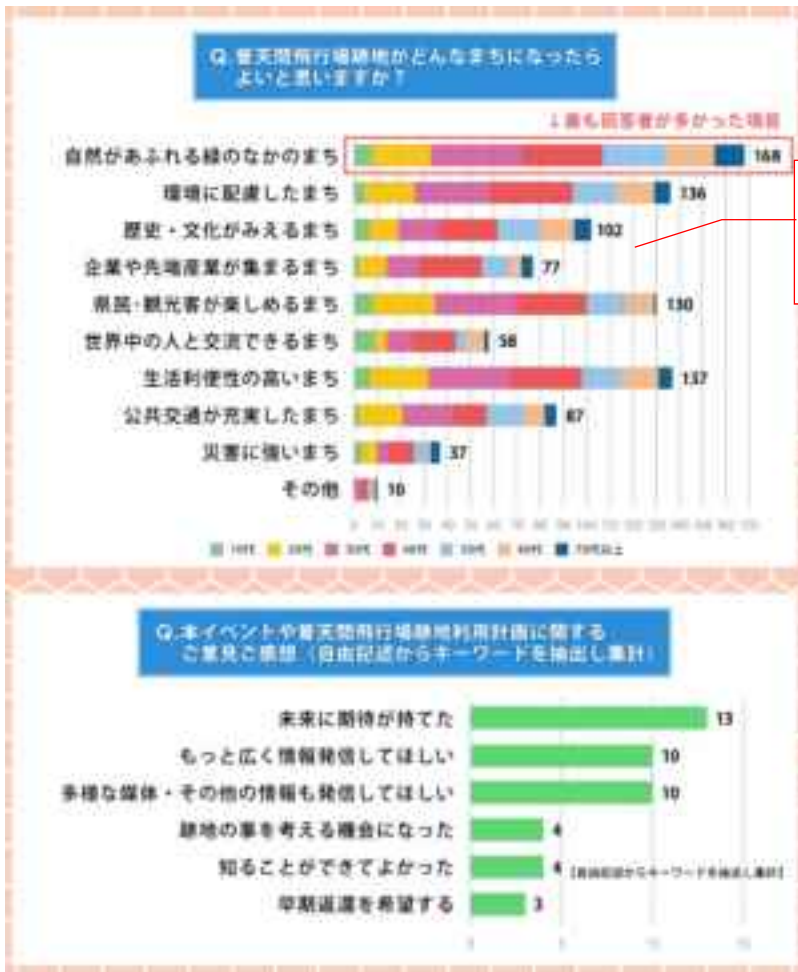




来場者の属性を性別、年代、居住地で紹介



会場内で実施したアンケート調査（普天間飛行場の存在、跡地利用に向けた取組の認知）の結果を紹介



会場内で実施したアンケート調査（普天間飛行場跡地に関するご意見、イベントの感想等）の結果を紹介



キャラクターのコメントにより、アンケート結果のまとめを紹介



- ・「子ども霞が関見学デー開催イベント」を過去のイベントに移動
- ・イベントの開催年度を掲載

(1) - 3 「バーチャル普天間未来シティ」

現在、検討されている跡地利用計画をもとに作成した仮想空間「バーチャル普天間未来シティ」へのリンクを追加した。



「バーチャル普天間未来シティ」へのリンクを追加

(2) アクセス解析（2月末まで集計）

Google アナリティクスを使いHPのアクセス解析を行った。

月毎のアクセス数は、平均約 522 名（昨年度(令和 2 年度)367 名、一昨年度(令和元年度)452 名)のユーザーが来訪し、約 1,316 ページビュー（昨年度 1,157 ページビュー、一昨年度 1,282 ページビュー）、1 ユーザー当たり約 2 ページを閲覧しており、昨年度及び一昨年度と比較すると、来訪者及びページビュー数ともに増加傾向であることが分かる。一方で、令和元年に実施した「こども霞が関見学デー」及び今年度 12 月に実施した「普天間未来予想図パネル展（巡回展示）」の期間中において、ホームページ閲覧者の著しい増加が見られなかったことから、今後の情報発信イベントでは、計画内容の紹介のみならず、本ホームページ等の存在を周知することも必要であると考えられる。

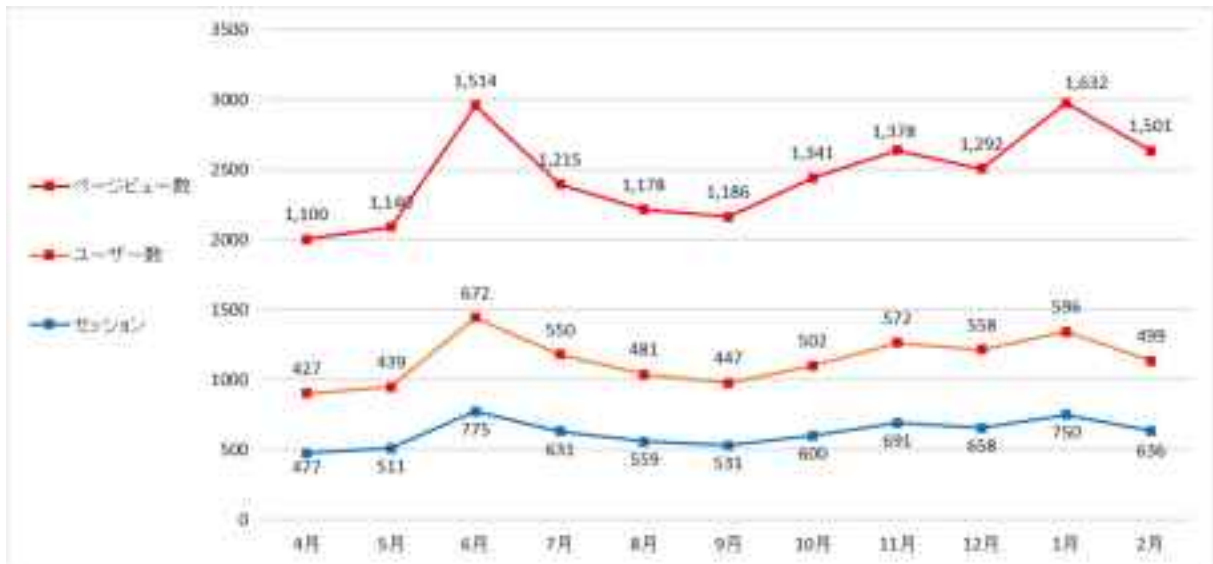
来訪者が多く閲覧しているページについては、「計画のポイント」としてまとめて掲載している「基地が返還される／まちがつながる／人々が集まるまちができる」が上位となっている他、未来のまちのイメージを紹介している「未来のまちイメージPV」へのアクセスが多くなっている。また、サイト内のユーザーの動きとしては、複数のページを閲覧した来訪者は全体の 3 割で、残りの 7 割の来訪者はサイト内で遷移せずに離脱していることがわかる。

エリア別のアクセス数については、米国や中国等の外国からのアクセスがわずかにあるものの約 98%が日本となっている。また、市町村別のアクセス数に関しては、那覇市が 15%と最も多く、次いで大阪市 12%、横浜市 9%の順となっており、宜野湾市からのアクセスは、6 番目に多い値であるものの全体の約 3%にとどまっている。県外市区町村からのアクセスについては、人口の多い市区町村（令和 3 年 12 月時点の全国市区町村人口ランキング：1 位 横浜市、2 位 大阪市、3 位 名古屋市）からのアクセスが相対的に多くなっていると考えられるが、「こども霞が関見学デー」を開催した令和元年度に限っては、新宿区と千代田区からのアクセス数が高くなっていることから、情報発信イベントにより東京都民を中心とするイベント参加者の関心を高める効果があったのではないかと推察される。

ホームページへのアクセスに利用している端末の内訳については、スマートフォン等のモバイルが約 52%と最も多く、次いでPC（デスクトップ）が 44%、タブレット 3%の順となっている。過去 2 年間の利用端末の推移においても、モバイルが最も高い割合を占めていることから、ホームページの更新にあたっては、モバイルからの見え方を念頭に置いたデザイン、コンテンツ制作を検討する必要があると考える。

表Ⅲ－８ 月毎のアクセス数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
セッション	477	511	775	631	559	531	600	691	658	750	636	6,819
ユーザー数	427	439	672	550	481	447	502	572	558	596	499	5,743
ページビュー数	1,100	1,140	1,514	1,215	1,178	1,186	1,341	1,378	1,292	1,632	1,501	14,477
ページ/セッション	2.31	2.23	1.95	1.93	2.11	2.23	2.24	1.99	1.96	2.18	2.36	平均 2.12
訪問時の平均滞在時間	01:36	01:48	01:26	01:44	01:55	01:53	01:51	01:34	01:36	02:35	02:23	平均 01:51
直帰率	62.47%	63.21%	65.55%	66.88%	64.04%	62.15%	64.33%	65.70%	67.17%	66.00%	63.21%	平均 64.79%



【用語解説】セッション: アクセスユーザーがサイトに流入してから離脱するまでの一連のページ遷移
 ユーザー数: 指定した期間にサイトにアクセスしたユーザーの数(同じユーザーは1回だけカウント)
 ページビュー数: 閲覧されたページの合計数。同じページが繰り返し表示された場合も集計
 ページ/セッション: 1セッションあたりのページビュー数。1回あたり何ページを閲覧したのかを判断
 訪問時の平均滞在時間: 1セッションあたりの平均滞在時間
 直帰率: 1ページだけを閲覧した訪問数の割合



図Ⅲ－30 ユーザー数の推移

表Ⅲ-9 ページ別ページビュー数（上位10ページのみ掲載）

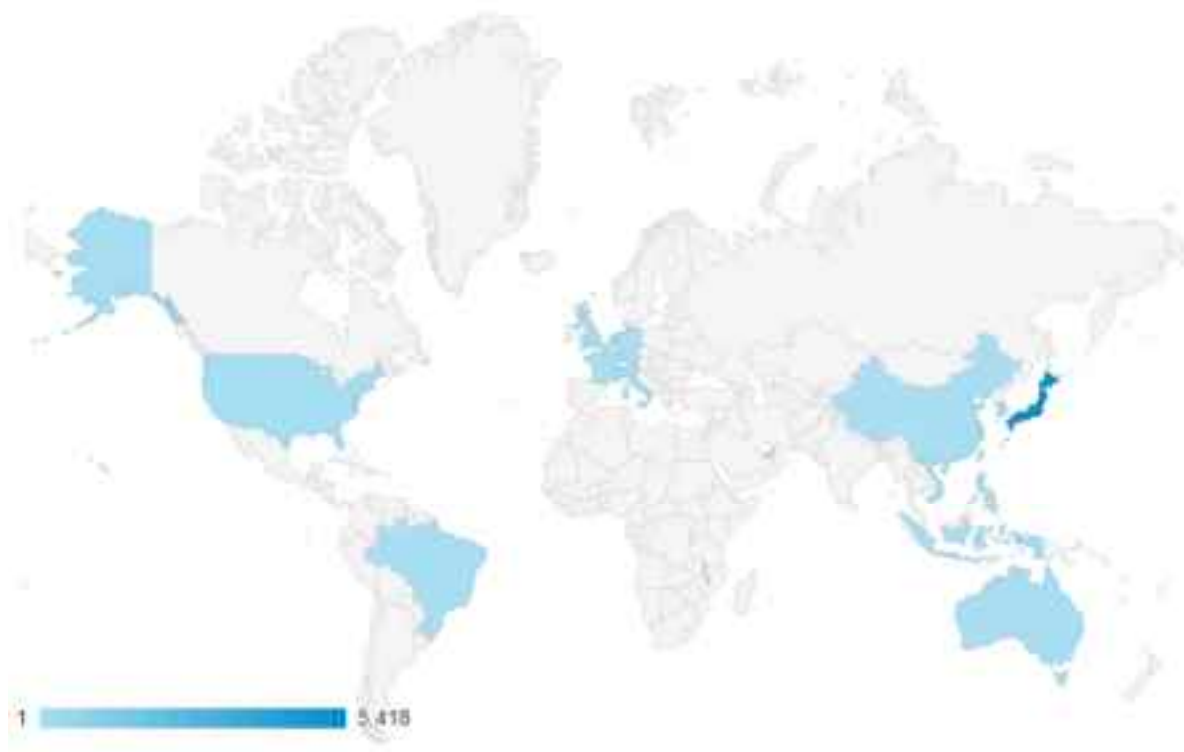
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
トップページ	320	385	583	403	378	317	356	362	421	464	300	4,289
基地が返還される	183	149	211	169	146	233	230	296	250	253	259	2,379
未来のまちイメージPV	141	126	151	128	126	129	119	147	97	173	89	1,426
まちがつながる	76	58	105	72	70	74	83	96	80	95	77	886
人々が集まるまちができる	51	54	89	51	52	48	70	61	53	62	46	637
跡地利用に伴う経済効果	46	46	45	48	41	46	58	55	40	89	87	601
緑の中のまちをつくる	35	31	66	50	50	27	42	47	42	53	36	479
原風景を探しに行こう！	27	22	33	57	53	29	34	26	30	38	43	392
模型で見るむかしの風景ページ	23	34	26	26	24	26	35	33	45	41	28	341
緑の中のまちづくり	19	33	19	24	32	22	21	17	25	28	35	275



図Ⅲ-31 サイト内のユーザーの動きの解析

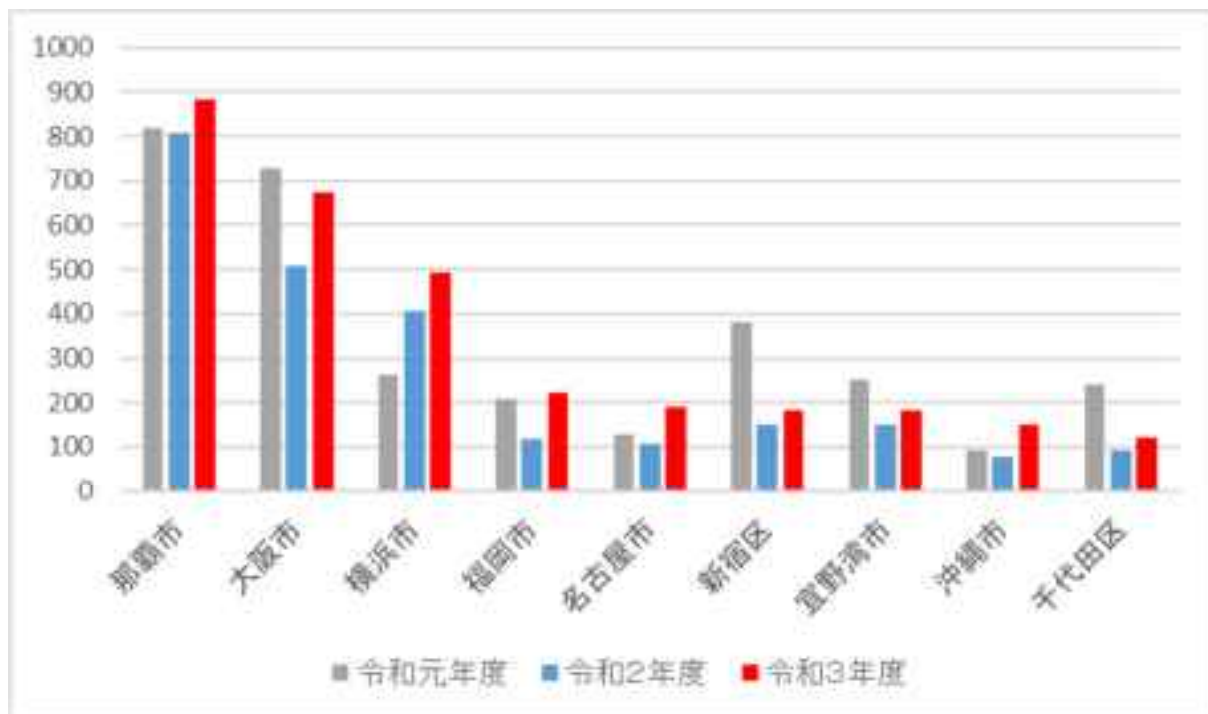
表Ⅲ-10 エリア別（国別）のアクセス数（上位10か国のみ掲載）

国	ユーザー	新規ユーザー	セッション	直帰率	ページ/ セッション	平均セッション時間
日本	5418	5402	6704	64.44%	2.14	112.77
アメリカ	56	56	56	85.71%	1.54	27.04
中国	12	12	12	66.67%	1.92	133.83
インドネシア	9	9	9	100.00%	1.00	0.00
ドイツ	4	4	4	100.00%	1.00	0.00
韓国	4	4	4	75.00%	1.50	5.25
シンガポール	4	4	4	100.00%	1.00	0.00
不明	4	4	4	100.00%	1.00	0.00
オーストラリア	3	3	3	100.00%	1.00	0.00
台湾	3	3	3	100.00%	1.00	0.00
合計	5531	5515	6819	(平均) 64.79%	(平均) 2.12	(平均) 111.35



表Ⅲ-11 エリア別（市区町村別）のアクセス数（上位10地域のみ掲載）

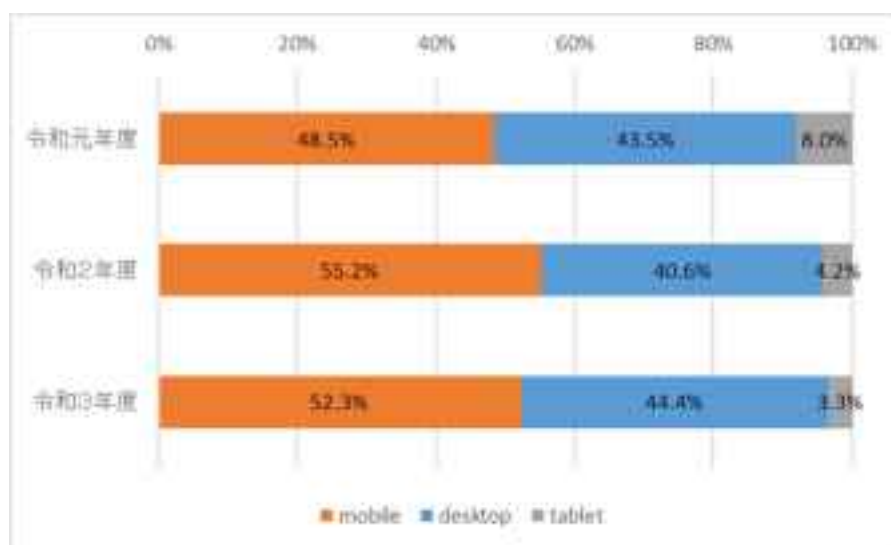
市区町村	ユーザー	新規ユーザー	セッション	直帰率	ページ/ セッション	平均セッション時間
那覇市	882	846	1151	56.21%	2.65	156.65
大阪市	674	634	743	68.64%	1.83	80.75
横浜市	494	473	579	68.57%	1.82	67.85
福岡市	221	212	255	67.06%	1.84	79.89
名古屋市	191	184	208	69.23%	1.77	69.95
新宿区	184	170	200	65.00%	2.06	96.28
宜野湾市	184	170	230	51.30%	2.63	146.33
不明	171	160	203	74.88%	1.74	108.82
沖縄市	149	142	183	51.37%	2.37	160.56
千代田区	121	107	153	62.75%	2.27	190.66
合計	5,808	5,515	6,819	(平均) 64.79%	(平均) 2.12	(平均) 111.35



図Ⅲ-32 市町村別アクセス数の推移

表Ⅲ-12 利用端末別（PC、タブレット、スマートフォン）のアクセス数

デバイス	ユーザー	新規ユーザー	セッション	直帰率	ページ/セッション	平均セッション時間
mobile	2892	2889	3412	68.61%	1.78	79.28
desktop	2454	2441	3168	59.69%	2.54	148.44
tablet	185	185	239	77.82%	1.60	77.53
合計	5,531	5,515	6,819	(平均) 68.71%	(平均) 1.97	(平均) 101.75



図Ⅲ-33 利用端末の推移

(3) 今後の展開

今年度までに毎年コンテンツの更新を行いながら、中身の充実を図ってきた。現状のサイトで見られるコンテンツは以下のとおりである。

- ・動画で見る普天間未来予想図（中間取りまとめ）
- ・バーチャル普天間未来シティ
- ・未来のまちイメージPV（動画）
- ・「緑の中のまちづくり」（海外事例動画あり）
- ・体験イベント（アンケート結果あり）
- ・模型で見る昔の風景（字宜野湾・字神山まちまーい体験報告含む）
- ・ゆめのあるぎのわんみらい（児童生徒絵画コンクール受賞作ギャラリー）
- ・県民の声（地権者、市民の活動紹介、体験イベント紹介、絵画コンクール紹介、跡地利用計画提案コンペ受賞作紹介）
- ・中南部都市圏駐留軍用地跡地利用広域構想
- ・跡地利用に伴う経済効果
- ・関連リンク
- ・中間取りまとめ（英語版）



ホームページでは、中間取りまとめのポイントやこれまで作成してきた未来のまちイメージPV、さらには県民・市民の声等、跡地利用に関する様々な取組を分かりやすく発信している。

今年度開催したイベントのアンケート結果から、6割以上の方が跡地利用計画策定に向けた検討が行われていることを知っているが、ホームページの存在は8割以上が知らなかったと回答している。また、ホームページのアクセス解析結果より、ホームページへの来訪者は過年度と比較して増加しているものの微増であり、情報発信が十分であるとは言い切れない状況となっている。

そのため、過年度実施したイベント開催時にホームページの情報を掲載したノベルティグッズを配布する等の広報活動のみではなく、県民・市民・地権者が何度もアクセスしてみたいと思えるようなコンテンツを追加・周知する必要がある。